

平成26年度

事業計画

公益財団法人和歌山県角膜・腎臓移植推進協会

平成26年度事業計画

1 基本方針

角膜及び腎臓等の移植を推進するため、調査研究、知識の普及啓発及び移植体制の整備等に努める。

2 事業概要

(1) 角膜及び腎臓等の移植についての普及啓発

ア 角膜及び腎臓等の移植に対する県民の理解が得られるよう、啓発用リーフレットならびに啓発グッズ等を作成し、ポスター、パンフレット等とともに、県、市町村、保健所、医療機関等に配布し、広報紙にも掲載する等、積極的な啓発に努める。

イ 看護師養成校、警察学校などにおいて、移植医療に関する講義を行う。

ウ 「目の愛護デー」及び「臓器移植普及推進月間」の時期に街頭キャンペーンを実施する。

エ 各地のイベント等において関係機関・団体の協力を得ながら年間を通じて啓発を実施する。

オ 院内臓器移植コーディネーター連絡会を実施する。

エ 院内臓器移植コーディネーター養成研修を実施する。

(2) 眼球提供及び登録者の増

献眼登録についての啓発を行い、登録者の増加に努める。

(3) 角膜及び腎臓等の移植に関する助成等

ア 角膜移植等を推進するため、眼球摘出医に対する報償を行う。

イ 腎臓移植を推進するため、移植希望者の新規登録を増進する。

(4) 眼球摘出・角膜等の移植及び腎臓移植体制の整備充実

ア 角膜等の円滑なあっせんができるよう眼球摘出協力病院及び移植医療機関の医療器具・医薬品の整備に努める。

イ 腎臓等移植が円滑に実施できるよう臓器移植コーディネーター活動を支援する。

(5) 眼球提供者への弔意

眼球提供者に生花料を供え、遺族に対し弔意を表するとともに、感謝状を贈る。

(6) 財政基盤の確立

移植の一層の推進を図るためには、協会の財政基盤を確立し、事業活動の充実強化が不可欠である。

- ア 賛助会員や県民の方からの寄付を募る。
- イ 賛助会員、寄付者に啓発資材等を配布する。
- ウ これまで継続的に協力をいただいていた各ライオンズクラブ等に活動状況を十分に説明し、引き続き協力を得られるよう要請する等、安定した収入の確保に努める。
- エ 和歌山県共同募金会、社会福祉法人和遊協社会福祉事業会等々へ助成金交付申請を行う。

(7) その他

公益財団法人の目的に沿って、事業推進に必要な事業を推進する。